

令和6年度用

小学校保健用

「新しい保健」
年間指導計画作成資料
【6年】

単元名	2章 けがの防止		教科書の ページ	p.20～47
配当時数	5時間	活動時期	学習指導要領 の内容	第5学年及び第6学年 G保健(2)

章の目標		けがの防止に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、けがの発生要因や防止の方法、けがの悪化を防ぐための簡単な手当の方法などを理解できるようにする。また、けがなどの簡単な手当を行うことができるようにする。
章の 観点別 評価規準	知識・技能	けがの防止について理解しているとともに、けがなどの簡単な手当についての技能を身につけている。 ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解している。 ・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、技能を身につけている。
	思考・判断・表現	けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	けがの防止の大切さに気づき、けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)事故やけがの原因		★他教科との関連:道徳	
・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがは、人の行動や環境が関わって発生することを理解できるようにする。 p.21～24	1	ステップ1 問いについて考える活動を通して、事故やけがの原因に気づき、課題を見つける。 ステップ2 教科書の事例から、事故やけがが起こる原因を考える。 ステップ3 学習したことを基に、教科書の事例から、事故やけがが起こる原因を、人の行動と環境に分けて考える。 ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・記録 [知技]記録
(2)学校や地域でのけがの防止		★他教科との関連:道徳	
・学校や地域で起こるけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること	1	ステップ1 問いについて考える活動を通して、学校や地域での事故やけがの原因に気づき、課題を見つける。 ステップ2 教科書の事例から、けがを防止する方法を考える。 ステップ3 学習したことを基に、教科書の事	[思判表]発言・記録 [態度]発言・記録

<p>を理解できるようにする。</p> <p>p.25～28</p>		<p>例から、潜んでいる危険を予測し、回避する方法を考える。</p> <p>ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	[知技]記録
(3)交通事故の防止		★他教科との関連:社会, 道徳	
<p>・交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>p.29～32</p>	1	<p>ステップ1 問いについて考える活動を通して、交通事故の原因に気づき、課題を見つける。</p> <p>ステップ2-1 教科書の二つの資料から、交通事故を防ぐために気をつけることを考える。</p> <p>ステップ2-2 教科書の事例から、交通事故の危険を予測し、回避する方法を考える。</p> <p>ステップ3 学習したことを基に、交通事故につながりやすい人の行動と環境の視点から、交通事故を防止するための環境整備について考える。</p> <p>ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	<p>[思判表]発言・記録</p> <p>[態度]発言・記録</p> <p>[知技]記録</p>
(4)犯罪被害の防止		★他教科との関連:社会, 道徳	
<p>・犯罪被害の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>p.33～37</p>	1	<p>ステップ1 問いについて考える活動を通して、犯罪被害の危険に気づき、課題を見つける。</p> <p>ステップ2 教科書の二つの資料から、犯罪被害が起こりやすい場所や状況を考える。</p> <p>ステップ3 学習したことを基に、教科書の二つのイラストを比較し、犯罪被害が起こる危険を予測し、回避する方法を考える。</p> <p>ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	<p>[思判表]発言・記録</p> <p>[態度]発言・記録</p> <p>[知技]記録</p>
●自然災害によるけがの防止(はってん)		★他教科との関連:社会, 理科, 道徳	
<p>・自然災害によるけがを防止するには、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることや日頃の備えなどが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>p.38～40</p>		<p>○教科書の写真などを参考に、地震による災害の例を挙げる。</p> <p>○地震によるけがを防止するにはどうしたらよいかを考える。</p> <p>○学習したことを基に、教科書のイラストから、危険を予測し、対策を考える。</p>	
(5)けがの手当		★他教科との関連:道徳	
<p>・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要がある</p>	1	<p>ステップ1 問いについて考える活動を通して、けがをしたときの手当の必要性に気づき、</p>	

<p>ことを理解できるようにする。</p> <p>・実習を通して、けがの簡単な手当の方法を理解し、行うことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.41～46</p>	<p>課題を見つける。</p> <p>ステップ 2-1 教科書の資料などから、けがをしたときの判断の仕方を調べる。</p> <p>ステップ 2-2 教科書の資料などから、軽いけがをしたときの適切な手当の方法を調べ、説明する。</p> <p>ステップ 3 (実習) けがなどの簡単な手当の正しい方法を理解し、実際に行う。</p> <p>ステップ 4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	<p>[思判表] 発言・記録</p> <p>[態度] 発言・記録</p> <p>[知技] 実習・記録</p> <p>[知技] 記録</p>
---	--	---